

決算補足説明資料

2011年度 第2四半期決算

2011年10月31日
田辺三菱製薬株式会社
証券コード:4508



田辺三菱製薬

本資料に関するお問い合わせ
広報部 TEL 06-6205-5211
FAX 06-6205-5105

目次

1	2011年度第2四半期 決算の概要				
	1. 2011年度第2四半期 業績サマリー	2. 2011年度 業績予想サマリー	3. 配当金	2
2	2011年度第2四半期 連結決算について				
	1. 損益状況				3
	損益実績	事業別売上高	売上原価 / 販売費及び一般管理費	3
	営業外損益	特別損益	法人税等	4
	主要製品売上高				5
	2. 財務状況				6
	資産・負債・純資産の状況				6
	キャッシュ・フロー計算書				7
	設備投資 / 情報システム開発投資	減価償却費		8
	3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数				8
3	2011年度 業績予想について				
	損益予想	事業別売上高予想	売上原価 / 販売費及び一般管理費予想	9
	主要製品売上高予想				10
	設備投資 / 情報システム開発投資予想	減価償却費予想		11
4	5ヵ年連結財務数値				
	損益計算書	貸借対照表	その他財務数値	従業員数 12
5	四半期業績の推移				
	損益計算書			 13
	主要製品売上高			 14
6	新製品開発状況について(2011年10月31日現在)				
	1. 国内開発状況				15
	新規化合物	効能追加		15
	2. 海外開発状況				16
	新規化合物			 16
	3. 導出品の開発状況				17
	4. 2011年度第1四半期決算発表時点(2011年7月29日)からの変更点				18
	自社開発品	導出品		18
	5. 新製品開発状況補足資料(2011年10月31日現在)				19
	国内 新規化合物			19
	国内 効能追加			20
	海外 新規化合物			21
	導出品			 22
7	その他				
	1. 関係会社				23
	関係会社数	連結子会社一覧	持分法適用非連結子会社一覧	23
	持分法適用関連会社一覧			 23
	2. 株式の状況				24
	発行済株式数	大株主の状況	所有者別株式数分布状況	
	配当金 / 株価推移			 24
参考	主要医療用医薬品の解説 / ニュースリリース			 25

1 2011年度第2四半期 決算の概要

(億円未満切捨て)

1. 2011年度第2四半期 業績サマリー

売上高	2,003 億円	前年同期比	43 億円	2.1 %
医薬品事業	1,954 億円	前年同期比	44 億円	2.2 %
その他	49 億円	前年同期比	0 億円	2.0 %

医薬品事業では、売上高は1,954億円となり、前年同期比2.2%、44億円の減収となりました。
 国内医療用医薬品は、抗ヒトTNF モノクローナル抗体製剤「レミケード」、アレルギー性疾患治療剤「タリオン」、選択的1遮断剤「メインテート」などが引き続き順調に推移しましたが、3月に発生した東日本大震災による前期末の一時的な受注増の反動などにより、1.9%減収の1,756億円となりました。
 海外医療用医薬品は、輸出が低調だったことなどにより19.0%減収の91億円となりました。
 医薬品その他は、FTY720のロイヤリティ収入などにより17.7%増収の76億円となりました。

各事業の主たる製品及び役務の内容
 医薬品事業：医療用医薬品、一般用医薬品
 その他：化成品、不動産賃貸業、情報サービス、宣伝製作物等

営業利益	360 億円	前年同期比	41 億円	10.2 %
------	--------	-------	-------	--------

売上高は前期比43億円の減収となりましたが、売上原価率が前年同期比0.8ポイント改善したことなどにより、売上総利益は9億円減益の1,259億円となりました。
 研究開発費が前年同期比3.3%、10億円増加したことなどにより、販売費及び一般管理費は、3.7%、31億円増加し、898億円となりました。
 なお、研究開発費は335億円、売上高に対する割合は16.8%となっております。

経常利益	363 億円	前年同期比	41 億円	10.1 %
------	--------	-------	-------	--------

四半期純利益	199 億円	前年同期比	27 億円	12.1 %
--------	--------	-------	-------	--------

営業利益の減益により、経常利益は前年同期比10.1%、41億円減益の363億円、四半期純利益は12.1%、27億円減益の199億円となりました。
 固定資産の減損損失29億円など32億円の特別損失が発生しました。なお、前年同期には、投資有価証券評価損24億円など37億円の特別損失を計上しております。

2. 2011年度 業績予想サマリー

売上高	4,050 億円	前期比	45 億円	1.1 %
営業利益	680 億円	前期比	85 億円	11.2 %
経常利益	680 億円	前期比	86 億円	11.3 %
当期純利益	375 億円	前期比	2 億円	0.7 %

3. 配当金

	2011年度		2010年度	
	上期末	年間(予想)	上期末	年間
1株当たり配当金(円)	15	30	14	28
配当性向	33.7%	35.4%	32.9%	

(注) 配当性向は、当期純利益からのれん償却額を除いた利益と年間配当金から算出しております。

1. 損益状況

損益実績

(単位:億円)

	2011年度上期	前年同期比較			予想比較		
		2010年度上期	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%
売上高	2,003	2,046	43	2.1	1,990	13	0.7
売上原価	744	778	33	4.4	755	10	1.4
売上原価率	37.2%	38.0%			37.9%		
売上総利益	1,259	1,268	9	0.7	1,235	24	2.0
販管費	898	866	31	3.7	915	16	1.8
販管費比率	44.9%	42.4%			46.0%		
営業利益	360	401	41	10.2	320	40	12.7
経常利益	363	404	41	10.1	320	43	13.7
特別利益	-	4	4	-	-	-	-
特別損失	32	37	4	-	35	2	5.9
四半期純利益	199	227	27	12.1	165	34	21.0

事業別売上高

(単位:億円)

	2011年度上期	前年同期比較			予想比較			主なポイント(前年同期比較)
		2010年度上期	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%	
医薬品事業	1,954	1,998	44	2.2	1,940	14	0.7	国内医療用医薬品 34億円 海外医療用医薬品 21億円 製造受託品 4億円 技術導出契約金等 +15億円 詳細は5ページ、主要製品売上高を参照
構成比	97.5%	97.6%			97.5%			
(国内)	(1,835)	(1,874)	(39)	(2.1)	(1,830)	(5)	(0.3)	
(海外)	(118)	(123)	(5)	(4.1)	(110)	(8)	(7.7)	
その他	49	48	0	2.0	50	0	1.1	海外売上高比率 2010年度上期:6.7% 2011年度上期:6.6% 平均為替レート 2010年度上期:1US\$ = 91.02円 2011年度上期:1US\$ = 81.78円
構成比	2.5%	2.4%			2.5%			
(国内)	(35)	(34)	(1)	(3.3)	(35)	(0)	(2.7)	
(海外)	(13)	(13)	(0)	(1.4)	(15)	(1)	(10.1)	
売上高合計	2,003	2,046	43	2.1	1,990	13	0.7	
構成比	100.0%	100.0%			100.0%			
(国内)	(1,871)	(1,909)	(37)	(2.0)	(1,865)	(6)	(0.4)	
(海外)	(131)	(137)	(5)	(3.8)	(125)	(6)	(5.6)	

売上原価 / 販売費及び一般管理費

(単位:億円)

	2011年度上期	前年同期比較			予想比較			主なポイント(前年同期比較)
		2010年度上期	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%	
売上原価	744	778	33	4.4	755	10	1.4	円高による輸入原料の仕入原価低下、ロイヤリティ収入の増加などにより売上原価率が改善
比率	37.2%	38.0%			37.9%			
販管費	898	866	31	3.7	915	16	1.8	国内後期開発品の開発進展による増加など
比率	44.9%	42.4%			46.0%			
研究開発費	335	324	10	3.3	345	9	2.7	
比率	16.8%	15.9%			17.3%			
研究開発費以外	563	542	21	3.9	570	6	1.2	
人件費	259	258	0	0.4	255	4	1.6	
のれん償却額(注2)	50	50	0	0.1	50	0	1.3	
その他	253	233	20	8.7	265	11	4.4	
総人件費	444	440	3	0.8	445	0	0.2	

(注1) 2011年7月29日 2011年度第1四半期決算発表時に公表した予想数値

(注2) 合併に係るのれん1,505億円を15年償却

営業外損益

(単位:億円)

	2011年度上期	2010年度上期	増減額	主なポイント
営業外収益	20	17	2	
受取利息	7	8	0	
受取配当金	4	4	0	
持分法による投資利益	1	-	1	
その他	6	4	1	
営業外費用	17	14	2	
為替差損	4	2	1	
固定資産除却損	2	1	0	
租税公課	2	2	0	
寄付金	1	1	0	
その他	6	6	0	

特別損益

(単位:億円)

	2011年度上期	2010年度上期	増減額	主なポイント
特別利益	-	4	4	
固定資産売却益	-	2	2	
過年度特許実施料戻入額	-	1	1	
特別損失	32	37	4	
投資有価証券評価損	0	24	23	
減損損失	29	-	29	三番町ビル(東京)
事業休止関連損失	-	7	7	前期)メドウェイ事業休止に伴う費用
特別退職金	-	4	4	前期)転籍に伴う加算退職金
構造改革費用	-	1	1	
その他	3	-	3	

法人税等

(単位:億円)

	2011年度上期	2010年度上期	増減額	主なポイント
税金等調整前当期純利益	330	371	40	2011年度上期 40.6% 2010年度上期 40.6%
法人税、住民税 及び事業税	104	128	24	法定実効税率調整) 交際費等永久に損金に算入されない項目 2.4% 2.1% 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 3.1% 2.7% 住民税均等割 0.2% 0.2% 試験研究費の特別控除 9.4% 8.6% のれん償却額 6.1% 5.5% 受取配当金の消去 2.8% 2.4% その他 0.4% 0.1%
法人税等調整額	25	17	8	税効果会計適用後の法人税等の負担率 39.2% 39.4%
少数株主損益	1	1	3	
四半期純利益	199	227	27	

主要製品売上高

(単位: 億円)

	2011年度上期	前年同期比較			予想比較		
		2010年度上期	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%
医療用医薬品	1,925	1,969	44	2.3	1,915	10	0.5
国内医療用医薬品	1,756	1,791	34	1.9	1,765	8	0.5
レミケード	320	293	27	9.3	-	-	-
ラジカット	127	142	14	10.5	-	-	-
セレジスト	89	89	0	0.6	-	-	-
アンブラーグ	77	82	5	6.7	-	-	-
タリオン	53	47	5	12.0	-	-	-
ウルソ	72	77	5	6.6	-	-	-
メインテート	65	59	6	10.4	-	-	-
クレメジン(注2)	61	-	61	-	-	-	-
デバス	54	57	2	4.9	-	-	-
ヴェノグロプリンH	50	45	4	10.7	-	-	-
ヘルベッサー	43	48	5	10.4	-	-	-
タナトリル	42	49	7	14.4	-	-	-
リプル	31	37	5	15.5	-	-	-
サアミオン	28	33	4	13.9	-	-	-
ノイアート	25	27	1	7.1	-	-	-
オムブラゾン	21	24	3	13.4	-	-	-
ワクチン	151	150	0	0.2	-	-	-
内、ミールピック	62	75	13	17.3	-	-	-
内、ジェービックV	48	37	11	31.9	-	-	-
内、インフルエンザ	23	19	3	19.9	-	-	-
田辺製薬販売取扱品(注3)	82	54	27	51.7	-	-	-
海外医療用医薬品	91	112	21	19.0	85	6	7.6
ヘルベッサー	22	24	1	5.7	22	0	0.4
アルガトロバン(ノバスタン)	16	18	2	10.9	15	1	7.1
タナトリル	8	9	1	10.3	8	0	1.0
ワクチン	9	6	2	40.8	9	0	3.6
製造受託品(注4)	47	52	4	8.3	40	7	19.6
技術導出契約金等	29	13	15	120.8	25	4	16.0
一般用医薬品	28	28	0	0.5	25	3	15.4
医薬品事業合計	1,954	1,998	44	2.2	1,940	14	0.7

(注1) 2011年7月29日 2011年度第1四半期決算発表時に公表した予想数値

(注2) クレメジンにつきましては、2010年度は第一三共に販売を委託しており、2010年度の国内医療用医薬品売上高には同社への販売額が含まれております。なお、第一三共への販売額につきましては開示しておりません。

(注3) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注4) 他社製品の製造受託品等

2. 財務状況

資産・負債・純資産の状況

(単位: 億円)

	2011年度 第2四半期末	構成比%	2010年度末	増減額	主なポイント
総資産	8,150	100.0	8,187	36	
流動資産	4,012	49.2	3,915	96	
現金及び預金	157	1.9	274	117	P7「キャッシュ・フロー計算書」参照
有価証券	630	7.7	847	217	国債、譲渡性預金の減少など
売上債権(注1) (売上債権回転月数)	1,274 (3.82)	15.6	1,283 (3.76)	8 (0.06)	
たな卸資産	839	10.3	777	62	東日本大震災による一時的な受注増(在庫減)の反動による増加
預け金	965	11.8	563	402	資金運用のための構成比変更による増加
繰延税金資産	109	1.3	125	15	
その他	34	0.4	44	9	
固定資産	4,138	50.8	4,271	133	
有形固定資産	1,079	13.2	1,135	55	設備投資 +28億円、減価償却 53億円、三番町ビル減損 29億円
無形固定資産	1,140	14.0	1,192	51	情報システム開発投資 +3億円、のれん償却 50億円、減価償却 5億円
投資有価証券	1,210	14.8	1,276	65	国債の減少など
前払年金費用	412	5.1	404	8	
その他	295	3.6	263	32	
負債	1,077	13.2	1,227	149	
流動負債	759	9.3	877	118	
仕入債務(注2)	324	4.0	296	28	主にワクチンなどの債務増加
短期借入金	21	0.3	28	7	
未払金	133	1.6	203	70	設備未払金の支払いによる減少など
未払法人税等	103	1.3	152	48	
その他	175	2.2	196	20	
固定負債	318	3.9	350	31	
繰延税金負債	104	1.3	114	9	
退職給付引当金	112	1.4	118	6	
HIV訴訟健康管理手当等引当金	14	0.2	15	0	
スモン訴訟健康管理手当等引当金	35	0.4	38	2	
HCV訴訟損失引当金	29	0.4	46	17	和解金の支払いに伴う取り崩し
その他	21	0.3	17	4	
純資産	7,072	86.8	6,959	113	
株主資本	7,143	87.6	7,022	121	
資本金	500	6.1	500	-	
資本剰余金	4,511	55.4	4,511	-	
利益剰余金	2,135	26.2	2,014	121	四半期純利益 +199億円、配当金支払い 78億円
自己株式	4	0.0	4	-	
その他の包括利益累計額	128	1.6	120	8	
その他有価証券評価差額金	31	0.4	27	4	
繰延ヘッジ損益	16	0.2	10	6	
為替換算調整勘定	80	1.0	82	2	
少数株主持分	58	0.7	57	0	

(注1) 売上債権 = 受取手形 + 売掛金 (注2) 仕入債務 = 支払手形(除く営業外支払手形) + 買掛金

キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2011年度上期	2010年度上期	増減額	2010年度
現金・現金同等物期首残高	978	629	349	629
営業キャッシュ・フロー	163	329	165	590
税金等調整前当期純利益	330	371	40	641
減価償却費	58	60	1	124
減損損失	29	-	29	8
のれん償却額	50	50	0	101
退職給付引当金の増減額(は減少)	6	6	0	12
前払年金費用の増減額(は増加)	8	18	10	37
HCV訴訟損失引当金の増減額(は減少)	17	32	15	60
災害損失引当金の増減額(は減少)	-	-	-	15
受取利息及び受取配当金	11	12	0	23
投資有価証券評価損益(は益)	0	24	23	80
売上債権の増減額(は増加)	9	9	19	25
たな卸資産の増減額(は増加)	61	41	20	47
仕入債務の増減額(は減少)	27	92	64	24
未払金の増減額(は減少)	36	61	24	21
利息及び配当金の受取額	12	13	1	25
法人税等の支払額	152	103	49	222
その他	60	2	63	20
投資キャッシュ・フロー	445	248	197	76
有価証券の取得・売却等	287	40	246	257
定期預金の預入・払戻	88	6	82	9
預け金の預入による支出	765	-	765	-
長期預金の預入・払戻	4	0	4	0
有形固定資産の取得・売却	60	39	20	70
無形固定資産の取得による支出	4	3	0	7
投資有価証券の取得・売却等	12	253	266	247
その他	0	0	0	0
財務キャッシュ・フロー	86	77	8	154
短期借入金の純増減額(は減少)	7	2	9	4
長期借入金の返済による支出	-	0	0	0
配当金の支払額	78	78	0	157
その他	0	1	0	1
現金・現金同等物に係る換算差額	0	7	7	11
現金・現金同等物の増減額(は減少)	367	4	363	348
非連結子会社との合併に伴う現金・現金同等物の増加額	-	0	0	0
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	0	0	0
現金・現金同等物期末残高	611	625	14	978

* 現金・現金同等物の期末残高と連結貸借対照表上の現金及び預金との関係(単位:億円)

	2011年度上期	2010年度上期	2010年度
現金及び預金	157	249	274
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	27	94	115
取得日から3ヵ月以内に償還期限が到来する有価証券	279	80	254
短期貸付金(注)に含まれる現金・現金同等物	1	0	1
預け金に含まれる現金・現金同等物	200	390	563
現金・現金同等物	611	625	978

(注)短期貸付金は、連結貸借対照表(6ページ)上は流動資産その他に含めております。

設備投資 / 情報システム開発投資

(単位:億円)

	2011年度 上期	2010年度 上期	増減額	2010年度
設備投資額 / 発生ベース	28	39	10	101
システム投資額 / 発生ベース	3	3	0	8

2011年度上期の主な設備投資		2011年度上期の主なシステム開発投資	
田辺三菱製薬	11億円	田辺三菱製薬	3億円
田辺三菱製薬工場	8億円		
・足利工場製剤製造設備	(1億円)		
ベネシス	6億円		
・京都工場製剤製造設備	(4億円)		

減価償却費

(単位:億円)

	2011年度 上期	2010年度 上期	増減額	2010年度
有形固定資産	53	54	1	113
無形固定資産	5	5	0	10

3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位:億円)

	会社名	ベネシス	田辺三菱製薬工場	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	三菱製薬(広州)	天津田辺製薬
	決算期	3月末	3月末	12月末	12月末	12月末
売上高	2011年度上期	109	273	18	0	10
	2010年度	182	530	37	22	20
	2010年度上期	98	267	19	13	10
営業利益	2011年度上期	21	17	2	5	0
	2010年度	12	46	5	1	1
	2010年度上期	9	17	2	1	1
経常利益	2011年度上期	21	19	2	5	0
	2010年度	13	45	5	3	1
	2010年度上期	10	17	3	1	1
当期純利益	2011年度上期	13	11	1	5	0
	2010年度	8	23	4	3	1
	2010年度上期	6	12	2	0	1
研究開発費	2011年度上期	9	4	-	0	-
	2010年度	20	9	-	0	0
	2010年度上期	11	5	-	0	-
有形固定資産 減価償却費	2011年度上期	5	16	0	0	0
	2010年度	10	38	0	1	0
	2010年度上期	5	18	0	0	0
総資産	2011年度上期末	317	574	24	32	20
	2010年度末	299	577	25	38	18
	2010年度上期末	304	561	23	46	20
純資産	2011年度上期末	259	386	17	27	14
	2010年度末	250	386	15	32	14
	2010年度上期末	248	375	17	38	14
従業員数	2011年度上期末	567	1,250	125	395	375
	2010年度末	575	1,219	125	419	333
	2010年度上期末	580	1,194	124	451	344

3 2011年度 業績予想について

(億円未満切捨て)

損益予想

(単位:億円)

	2011年度予想	2010年度実績	増減額	増減率%	主なポイント
売上高	4,050	4,095	45	1.1	
売上原価	1,500	1,545	45	3.0	
売上原価率	37.0%	37.7%			
売上総利益	2,550	2,549	0	0.0	
販管費	1,870	1,783	86	4.8	
販管費比率	46.2%	43.6%			
営業利益	680	765	85	11.2	
経常利益	680	766	86	11.3	
特別利益	-	6	6	100.0	
特別損失	45	132	87	65.9	
当期純利益	375	377	2	0.7	

事業別売上高予想

(単位:億円)

	2011年度予想	2010年度実績	増減額	増減率%	主なポイント
医薬品事業	3,955	4,002	47	1.2	
構成比	97.7%	97.7%			
(国内)	(3,710)	(3,768)	(58)	(1.6)	
(海外)	(245)	(233)	(11)	(4.8)	
その他	95	93	1	2.0	
構成比	2.3%	2.3%			
(国内)	(70)	(69)	(0)	(1.2)	
(海外)	(25)	(23)	(1)	(4.4)	
売上高合計	4,050	4,095	45	1.1	海外売上高比率 2010年度:6.3% 2011年度予想:6.7%
構成比	100.0%	100.0%			
(国内)	(3,780)	(3,837)	(57)	(1.5)	
(海外)	(270)	(257)	(12)	(4.8)	

売上原価 / 販売費及び一般管理費予想

(単位:億円)

	2011年度予想	2010年度実績	増減額	増減率%	主なポイント
売上原価	1,500	1,545	45	3.0	
比率	37.0%	37.7%			
販管費	1,870	1,783	86	4.8	
比率	46.2%	43.6%			
研究開発費	690	657	32	4.9	
比率	17.0%	16.1%			
研究開発費以外	1,180	1,126	53	4.8	
人件費	515	525	10	1.9	
のれん償却額 (注)	100	101	1	1.5	
その他	565	499	65	13.1	新製品発売に伴う販売経費増加など
総人件費	890	886	3	0.4	

(注) 1,505億円を15年償却

主要製品売上高予想

(単位:億円)

	2011年度 通期予想	2010年度 通期実績	増減額	増減率%
医療用医薬品	3,905	3,947	42	1.1
国内医療用医薬品	3,580	3,616	36	1.0
レミケード	664	604	60	10.0
ラジカット	237	287	49	17.4
セレジスト	181	180	0	0.5
アンブラーグ	150	164	14	8.5
タリオン	145	134	11	8.3
ウルソ	142	153	11	7.3
メインテート	134	123	11	9.6
クレメジン(注1)	122	-	122	-
デバス	108	114	5	5.1
ヴェノグロブリンH	102	96	6	6.3
ヘルベッサー	86	96	9	10.0
タナトリル	82	96	14	15.1
リブル	61	73	11	15.7
サアミオン	54	63	8	13.9
ノイアート	51	55	4	7.7
オメブラゾン	40	48	7	16.2
ワクチン	295	296	0	0.1
内、ミールピック	(100)	(122)	(22)	(18.5)
内、ジェービックV	(85)	(69)	(16)	(23.2)
内、インフルエンザ	(82)	(71)	(11)	(15.8)
田辺製薬販売取扱品(注2)	173	140	32	23.2
海外医療用医薬品	185	213	28	13.2
ヘルベッサー	46	46	0	1.1
アルガトロバン(ノバスタン)	28	34	6	18.7
タナトリル	17	18	0	3.4
ワクチン	16	13	2	20.1
製造受託品(注3)	80	93	13	14.7
技術導出契約金等	60	24	35	145.7
一般用医薬品	50	54	4	8.0
医薬品事業合計	3,955	4,002	47	1.2

(注1) クレメジンにつきましては、2010年度は第一三共に販売を委託しており、2010年度の国内医療用医薬品売上高には同社への販売額が含まれております。なお、第一三共への販売額につきましては開示しておりません。

(注2) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注3) 他社製品の製造受託品等

設備投資 / 情報システム開発投資予想

(単位: 億円)

	2011年度 予想	2010年度 実績	増減額	増減率%
設備投資額 / 発生ベース	77	101	24	24.3
システム投資額 / 発生ベース	10	8	1	19.3

2011年度下期の主な設備投資予定		2011年度下期の主なシステム投資予定	
生産関係設備	28億円	研究開発関係システム	4億円
研究開発関係設備	19億円	生産関係システム	1億円
その他	1億円	その他	1億円

減価償却費予想

(単位: 億円)

	2011年度 予想	2010年度 実績	増減額	増減率%
有形固定資産	122	113	8	7.5
無形固定資産	10	10	0	7.7

4 5ヵ年連結財務数値

(億円未満切捨て)

損益計算書

(単位:億円)

	2007年度 単純合算	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度上期	2011年度予想
売上高	4,094	4,147	4,047	4,095	2,003	4,050
売上原価	1,505	1,581	1,478	1,545	744	1,500
売上総利益	2,588	2,565	2,569	2,549	1,259	2,550
販管費	1,864	1,848	1,954	1,783	898	1,870
内、研究開発費	723	731	830	657	335	690
営業利益	724	716	614	765	360	680
経常利益	736	725	616	766	363	680
特別利益	19	12	0	6	-	-
特別損失	203	257	107	132	32	45
当期純利益	319	265	302	377	199	375

貸借対照表

(単位:億円)

	2007年度末	2008年度末	2009年度末	2010年度末	2011年度上期末
総資産	8,072	8,107	7,968	8,187	8,150
流動資産	3,820	3,644	3,442	3,915	4,012
固定資産	4,252	4,463	4,526	4,271	4,138
負債	1,394	1,445	1,200	1,227	1,077
流動負債	894	891	777	877	759
固定負債	500	553	422	350	318
純資産	6,678	6,662	6,768	6,959	7,072

その他財務数値

(単位:億円)

	2007年度 単純合算	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度上期	2011年度予想
営業キャッシュ・フロー	464	505	239	590	163	-
投資キャッシュ・フロー	89	745	612	76	445	-
財務キャッシュ・フロー	90	159	171	154	86	-
設備投資額	99	121	83	101	28	77
情報システム開発投資	19	17	8	8	3	10
減価償却費	150	156	132	124	58	132
自己資本比率(%)	80.9	80.5	84.1	84.3	86.1	-
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	4.9	4.1	4.6	5.5	5.7	-
1株当たり当期純利益(円)	50.12	47.28	53.91	67.27	35.58	66.84
1株当たり純資産(円)	1,163.96	1,162.69	1,194.79	1,230.16	1,250.20	-

従業員数

(単位:人)

	2007年度末	2008年度末	2009年度末	2010年度末	2011年度上期末	2011年度末予想
連結	10,361	10,030	9,266	9,198	9,197	9,185
単体	6,266	5,715	5,186	4,957	4,891	4,780

5 四半期業績の推移

(億円未満切捨て)

損益計算書

(単位: 億円)

	2010年度					2011年度		
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	通期予想
売上高	1,087 26.6%	959 23.4%	1,148 28.0%	899 22.0%	4,095 100.0%	1,022 25.2%	981 24.2%	4,050 100.0%
(国内)	(1,020) (26.6%)	(889) (23.2%)	(1,089) (28.4%)	(838) (21.8%)	(3,837) (100.0%)	(957) (25.3%)	(914) (24.2%)	(3,780) (100.0%)
(海外)	(67) (26.1%)	(69) (27.1%)	(59) (22.9%)	(61) (23.8%)	(257) (100.0%)	(65) (24.3%)	(66) (24.6%)	(270) (100.0%)
医薬品事業	1,060 26.5%	938 23.4%	1,125 28.1%	878 22.0%	4,002 100.0%	997 25.2%	956 24.2%	3,955 100.0%
(国内)	(1,002) (26.6%)	(872) (23.2%)	(1,071) (28.4%)	(822) (21.8%)	(3,768) (100.0%)	(937) (25.3%)	(898) (24.2%)	(3,710) (100.0%)
(海外)	(57) (24.8%)	(65) (28.1%)	(53) (22.9%)	(56) (24.2%)	(233) (100.0%)	(60) (24.6%)	(58) (23.8%)	(245) (100.0%)
その他	27 29.6%	20 22.5%	23 25.3%	21 22.6%	93 100.0%	25 26.4%	24 25.7%	95 100.0%
(国内)	(18) (26.4%)	(16) (24.0%)	(18) (26.2%)	(16) (23.5%)	(69) (100.0%)	(19) (28.1%)	(16) (23.2%)	(70) (100.0%)
(海外)	(9) (39.0%)	(4) (18.2%)	(5) (22.8%)	(4) (20.1%)	(23) (100.0%)	(5) (21.4%)	(8) (32.5%)	(25) (100.0%)
売上原価	413	365	445	321	1,545	373	370	1,500
売上原価率	38.0%	38.1%	38.8%	35.7%	37.7%	36.5%	37.8%	37.0%
売上総利益	674 26.5%	594 23.3%	702 27.6%	578 22.7%	2,549 100.0%	648 25.5%	610 23.9%	2,550 100.0%
販売費及び 一般管理費	408 22.9%	458 25.7%	415 23.3%	501 28.1%	1,783 100.0%	421 22.5%	477 25.5%	1,870 100.0%
研究開発費	159 24.2%	165 25.1%	151 23.0%	181 27.7%	657 100.0%	157 22.8%	178 25.8%	690 100.0%
研究開発費 以外	249 22.1%	292 26.0%	264 23.5%	319 28.4%	1,126 100.0%	264 22.4%	298 25.3%	1,180 100.0%
人件費	123 23.5%	134 25.6%	124 23.7%	142 27.2%	525 100.0%	126 24.5%	133 25.8%	515 100.0%
のれん 償却額	25 25.0%	25 25.0%	25 25.0%	25 25.0%	101 100.0%	25 25.3%	25 25.3%	100 100.0%
その他	100 20.1%	132 26.6%	115 23.0%	151 30.3%	499 100.0%	112 20.0%	140 24.9%	565 100.0%
営業利益	265 34.7%	135 17.7%	287 37.5%	77 10.1%	765 100.0%	227 33.4%	133 19.6%	680 100.0%
経常利益	267 34.9%	136 17.8%	289 37.7%	72 9.5%	766 100.0%	229 33.8%	133 19.7%	680 100.0%
四半期(当期) 純利益	146 38.9%	80 21.3%	165 43.9%	15 4.0%	377 100.0%	114 30.5%	85 22.8%	375 100.0%

(注) 各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

主要製品売上高

(単位: 億円)

	2010年度					2011年度		
	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月	通期実績	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	通期予想
医療用医薬品	1,047 26.5%	922 23.4%	1,109 28.1%	868 22.0%	3,947 100.0%	983 25.2%	942 24.1%	3,905 100.0%
国内医療用医薬品	960 26.6%	830 23.0%	1,035 28.6%	789 21.8%	3,616 100.0%	897 25.1%	859 24.0%	3,580 100.0%
レミケード	143 23.8%	149 24.8%	173 28.8%	137 22.7%	604 100.0%	158 23.8%	162 24.4%	664 100.0%
ラジカット	79 27.8%	62 21.9%	80 28.2%	63 22.1%	287 100.0%	67 28.4%	60 25.5%	237 100.0%
セレジスト	48 26.6%	41 23.0%	51 28.3%	39 22.0%	180 100.0%	46 25.6%	42 23.5%	181 100.0%
アンブラーグ	45 27.5%	37 22.8%	47 28.8%	34 20.9%	164 100.0%	40 27.2%	36 24.1%	150 100.0%
タリオン	26 19.8%	20 15.6%	35 26.5%	51 38.1%	134 100.0%	30 21.1%	22 15.5%	145 100.0%
ウルソ	41 26.9%	35 23.3%	42 27.8%	33 22.0%	153 100.0%	37 26.6%	34 24.0%	142 100.0%
メインテート	32 26.3%	27 22.2%	34 28.4%	28 23.1%	123 100.0%	34 25.2%	31 23.6%	134 100.0%
クレメジン(注2)	- -	- -	- -	- -	- -	28 23.3%	33 27.3%	122 100.0%
デバス	30 27.0%	26 23.1%	31 27.7%	25 22.2%	114 100.0%	28 25.8%	26 24.3%	108 100.0%
ヴェノグロブリンH	23 24.9%	21 22.4%	28 29.9%	21 22.7%	96 100.0%	24 24.4%	25 24.9%	102 100.0%
ヘルベッサー	27 28.1%	21 22.6%	28 29.3%	19 20.0%	96 100.0%	23 27.0%	20 23.5%	86 100.0%
タナトリル	27 28.5%	22 23.2%	27 28.3%	19 20.0%	96 100.0%	22 27.7%	20 24.4%	82 100.0%
リブル	20 27.7%	16 23.1%	20 27.7%	15 21.5%	73 100.0%	16 26.8%	14 24.1%	61 100.0%
サアミオン	18 28.4%	15 23.5%	17 27.8%	12 20.3%	63 100.0%	15 27.4%	13 24.5%	54 100.0%
ノイアート	14 26.1%	13 23.3%	16 30.1%	11 20.5%	55 100.0%	12 24.9%	12 24.9%	51 100.0%
オメブラゾン	13 28.3%	11 22.7%	13 28.5%	10 20.5%	48 100.0%	11 27.5%	10 25.2%	40 100.0%
ワクチン	77 26.1%	73 24.8%	92 31.3%	52 17.8%	296 100.0%	70 23.8%	80 27.3%	295 100.0%
内、ミールピック	49 40.6%	25 21.1%	14 11.6%	32 26.6%	122 100.0%	41 41.6%	21 21.1%	100 100.0%
内、ジェービックV	17 25.6%	19 27.9%	16 23.9%	15 22.6%	69 100.0%	20 24.5%	28 32.8%	85 100.0%
内、インフルエンザ	0 0.0%	19 27.4%	57 80.2%	5 7.6%	71 100.0%	0 0.1%	23 28.4%	82 100.0%
田辺製薬販売取扱品 (注3)	28 20.4%	25 18.1%	47 33.7%	39 27.9%	140 100.0%	43 25.1%	38 22.2%	173 100.0%
海外医療用医薬品	56 26.6%	56 26.4%	50 23.7%	49 23.3%	213 100.0%	46 25.3%	44 24.2%	185 100.0%
ヘルベッサー	12 25.9%	12 26.4%	10 23.4%	11 24.3%	46 100.0%	11 26.1%	10 23.9%	46 100.0%
アルガトロバン (ノバスタン)	10 29.5%	8 23.5%	8 24.3%	7 22.8%	34 100.0%	9 35.1%	6 22.9%	28 100.0%
タナトリル	5 30.0%	4 23.2%	4 27.0%	3 19.8%	18 100.0%	3 22.1%	4 27.3%	17 100.0%
ワクチン	2 18.9%	4 30.0%	2 16.5%	4 34.6%	13 100.0%	4 29.0%	4 28.4%	16 100.0%
製造受託品(注4)	26 28.6%	25 27.0%	19 20.9%	22 23.5%	93 100.0%	24 30.6%	23 29.2%	80 100.0%
技術導出契約金等	2 11.3%	10 42.5%	4 17.6%	6 28.6%	24 100.0%	14 24.0%	14 24.4%	60 100.0%
一般用医薬品	12 23.7%	15 29.1%	15 28.2%	10 19.0%	54 100.0%	14 28.5%	14 29.2%	50 100.0%
医薬品事業合計	1,060 26.5%	938 23.4%	1,125 28.1%	878 22.0%	4,002 100.0%	997 25.2%	956 24.2%	3,955 100.0%

(注1) 各項目の下段は進捗率を表示

(注2) クレメジンにつきましては、2010年度は第一三共に販売を委託しており、2010年度の国内医療用医薬品売上高には同社への販売額が含まれております。なお、第一三共への販売額につきましては開示しておりません。

(注3) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注4) 他社製品の製造受託品等

6 新製品開発状況について (2011年10月31日現在)

1. 国内開発状況 新規化合物

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	開発段階	起源	備考
MP-513 (テネグリブチン)	DPP4阻害剤 (2型糖尿病)	申請中 (2011年8月)	自社	
	(2型糖尿病・追加併用)	フェーズ3		
BK-4SP	ワクチン (百日せき、ジフテリア、破傷風及び急性灰白髄炎の予防)	フェーズ3	一般財団法人 阪大微生物病研究会	共同開発 (一般財団法人 阪大微生物病研究会)
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	フェーズ3	自社	
MP-214 (カリブラジン)	D3/D2受容体拮抗剤 (統合失調症)	フェーズ2	ハンガリー: ゲデオンリヒター	
MP-435	C5a受容体拮抗剤 (関節リウマチ)	フェーズ2	自社	
MT-4666	7nACh受容体作動剤 (アルツハイマー病)	フェーズ1	米:エンヴィヴォ	

効能追加

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	開発段階	起源	備考
献血ヴェノグロブリンH (ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン)	ヒト免疫グロブリンG (免疫グロブリンG2欠乏症)	申請中 (1997年12月)	自社	
	(全身性強皮症)	フェーズ3		
モディオダール (モダフィニル)	精神神経用剤 (閉塞性睡眠時無呼吸症候群)	申請中 (2010年5月)	米:セファロン	共同開発 (アルフレッサファーマ)
ラジカット (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症*)	フェーズ3	自社	
メインテート (ピソプロロール)	選択的β1遮断剤 (慢性心房細動)	フェーズ3	自社	
タリオン (ペボタスチン)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤 (小児アレルギー性鼻炎)	フェーズ3	宇部興産	
コレバイン (コレスチミド(JAN))	胆汁酸分泌制御 (2型糖尿病)	フェーズ2	自社	
	リン吸収阻害作用 (高リン血症)	フェーズ1		

*希少疾病用医薬品指定

2. 海外開発状況
新規化合物

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源	備考
リバロ (ピタバスタチン)	HMG-CoA還元酵素阻害剤 (原発性高脂血症、混合型脂質異常症)	インドネシア	申請中 (2010年6月)	興和	タナベ インドネシアによる申請
MCI-196 (コレステラン(INN))	リン吸収阻害剤 (高リン血症)	欧州	申請中 (2011年8月)	自社	
MP-146	尿毒症毒素吸着剤 (慢性腎臓病)	米国、欧州	フェーズ3	クレハ	
MT-2832 (ルナカルシポール)	ビタミンD誘導体 (二次性副甲状腺機能亢進症)	米国・カナダ	フェーズ2	カナダ: サイトクロマ	
MCI-186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (脳梗塞急性期)	欧州	フェーズ2	自社	
MP-513 (テネグリブチン)	DPP4阻害剤 (2型糖尿病)	欧州	フェーズ2	自社	
		米国	フェーズ1		
GB-1057 (人血清アルブミン[遺伝子組換え])	遺伝子組換えヒト血清アルブミン (安定化剤)	米国	フェーズ1	自社	
TA-8995	CETP阻害剤 (脂質異常症)	欧州	フェーズ1	自社	
MP-124	PARP阻害剤 (脳梗塞急性期)	米国・カナダ	フェーズ1	自社	
MP-136	PPAR 作動剤 (脂質異常症)	欧州	フェーズ1	自社	
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (高血圧)	欧州	フェーズ1	自社	
MP-157	アンジオテンシン タイプ2受容体作動剤 (高血圧)	欧州	フェーズ1	自社	
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州	フェーズ1	自社	
MT-7716	NOP受容体作動薬 (アルコール使用障害)	米国	フェーズ1	自社	

3. 導出品の開発状況

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	導出先
TA-1790 (アバナフィル)	PDE5阻害剤 (勃起不全)	米国	申請 (2011年6月)	米: ヴィーヴァス
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	米国、欧州	フェーズ 3	米: ジョンソン・エンド・ジョンソン
	(肥満)	米国、欧州	フェーズ 2	
T-0047 (フィラテグラスト)	細胞接着阻害剤[4 7/ 4 1阻害剤] (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 2	英: グラクソ・スミスクライン
MKC-242	セロトニン1A受容体作動剤 (不眠症)	米国	フェーズ 2	米: メディシナバ
MKC-231	神経新生促進剤 (うつ病 / 不安障害)	米国	フェーズ 2	米: ブレインセルズ
Y-39983	ROCK阻害剤 (緑内障)	日本	フェーズ 2	日: 千寿製薬
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	欧州	フェーズ 2	仏: キレナイック
MKC-733	セロトニン3作動剤 (胃食道逆流症)	米国	フェーズ 2	米: エデューサ
sTU-199 (テナトプラゾール)	プロトンポンプ阻害剤 (胃食道逆流症)	欧州	フェーズ 1	仏: ネグマ(シテム)
TT-138	3受容体作動剤 (頻尿 / 尿失禁)	米国	フェーズ 1	米: メディシナバ
TA-7906	PDE4阻害剤 (アトピー性皮膚炎)	日本	フェーズ 1	日: マルホ

4. 2011年度第1四半期決算発表時点(2011年7月29日)からの変更点

自社開発品

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2011年10月31日現在
FTY720 (フィンゴリド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症*)	日本	申請中 (2010年12月)	承認 (2011年9月)
MP-424 (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (C型慢性肝炎)	日本	申請中 (2011年1月)	承認 (2011年9月)
献血ヴェノグロブリンH (ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン)	ヒト免疫グロブリンG (全身型重症筋無力症*)	日本	申請中 (2010年12月)	承認 (2011年9月)
レミケード (インフリキシマブ(遺伝子組換え))	抗ヒトTNF モノクローナル抗体製剤 (クローン病*:用法・用量の変更)	日本	申請中 (2010年12月)	承認 (2011年8月)
MCI-196 (コレステラン(INN))	リン吸収阻害剤 (高リン血症)	欧州	フェーズ3	申請中 (2011年8月)
		米国	フェーズ3	中断
MP-513 (テネリグリブチン)	DPP4阻害剤 (2型糖尿病)	日本	フェーズ3	申請中 (2011年8月)
メインテート (ピソプロロール)	選択的β1遮断剤 (慢性心房細動)	日本	-	フェーズ3
タリオン (ペボタスチン)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤 (小児アレルギー性鼻炎)	日本	-	フェーズ3
MT-7716	NOP受容体作動薬 (アルコール使用障害)	米国	-	フェーズ1

*希少疾病用医薬品指定

導出品

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2011年10月31日現在
TA-1790 (アパナフィル)	PDE5阻害剤 (勃起不全)	韓国	申請 (2011年1月)	承認 (2011年8月)

5. 新製品開発状況補足資料(2011年10月31日現在)

国内 新規化合物

治験コード/製品名 (一般名)	補足説明
MP-513 (テネグリブチン)	DPP4阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤。2011年8月に申請。追加併用試験を実施中。
BK-4SP	百日せき菌の抗原、ジフテリアトキソイド、破傷風トキソイド、および不活化ポリオウイルスの混合ワクチン。一般財団法人阪大微生物病研究会と共同開発。フェーズ3。
MP-214 (カリプラジン)	ドパミンD3/D2受容体拮抗作用を有する。ゲデオリヒター(ハンガリー)より導入。統合失調症を対象にフェーズ 2。
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。2型糖尿病でフェーズ 3。
MP-435	補体成分C5a受容体拮抗作用を有する経口の免疫調節剤。関節リウマチを対象にフェーズ 2。
MT-4666	7ニコチン性アセチルコリン受容体(nAChR)アゴニスト。エンヴィヴォ(米)より導入。アルツハイマー病を対象にフェーズ1。

国内 効能追加

治験コード/製品名 (一般名)	補足説明
献血ヴェノグロブリンH (ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン)	(免疫グロブリンG2欠乏症)申請中。 (びまん型全身性強皮症)国内の臨床研究によって疾患の主要因である皮膚症状の改善に対してIVIGの有効性が見出され、海外においても有効性が報告されている。フェーズ3。
モディオダール (モダフィニル)	(閉塞性睡眠時無呼吸症候群)2008年5月に共同開発会社のアルフレッサファーマが申請したが、当局との相談の結果、追加データ取得のため、追加臨床試験フェーズ3を実施し2010年5月に追加データを提出。
ラジカット (エダラボン)	(筋萎縮性側索硬化症(2005年6月、希少疾病用医薬品指定))フェーズ3。 追加試験準備中
メインテート (ピソプロロール)	(慢性心房細動)関連学会からの開発要望を受け、現在、用量設定の為の臨床試験を実施中。フェーズ3。
タリオン (ベボタスチン)	(小児アレルギー性鼻炎)2000年に成人のアレルギー性疾患治療剤として発売。小児のアレルギー性鼻炎に対する臨床試験を実施中。フェーズ3。
コレバイン (コレスチミド(JAN))	(2型糖尿病)フェーズ2。 (高リン血症)フェーズ1。

海外 新規化合物

治験コード/製品名 (一般名)	補足説明
リバロ (ビタバスタチン)	2009年8月に興和から導入したHMG-CoA還元酵素阻害剤。高コレステロール血症治療薬として、インドネシアでタナベインドネシアが申請中。日本では製品名リバロで興和が販売中。
MCI-196 (コレステラン(INN))	陰イオン交換樹脂。欧州で腎透析患者における高リン血症治療薬として2011年8月に申請。米国では申請中断中。日本では、高コレステロール血症治療薬として製品名コレバインで販売中。
MP-146	2006年11月にクレハから導入した経口の球状吸着炭。慢性腎臓病患者を対象に欧米においてフェーズ3。日本では製品名クレメジンで1991年から三共(現、第一三共)が販売していたが、2011年4月より当社が販売を継承。
MT-2832 (ルナカルシボール)	2008年7月にサイトクローム(カナダ)から導入。ビタミンDシグナル伝達を強力に活性化すると同時に、ビタミンDの不活性化をつかさどる酵素CYP24に分解されにくい新しいタイプのビタミンD誘導体。カナダにおいて慢性腎不全患者を対象に二次性副甲状腺機能亢進症でフェーズ2。
MCI-186 (エダラボン)	世界初の脳保護剤(フリーラジカル消去剤)。脳梗塞急性期を対象に欧州でフェーズ2。日本では製品名ラジカットで販売中。
MP-513 (テネリグリブチン)	DPP4酵素阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤。米国でフェーズ1、欧州でフェーズ2。
GB-1057 (人血清アルブミン(遺伝子組換え))	遺伝子組換えヒト血清アルブミン。米国において安定化剤でフェーズ1。
TA-8995	CETP阻害により、HDL-Cを増加させLDL-Cを低下させる脂質異常症治療剤。欧州でフェーズ1。
MP-124	PARP酵素阻害により神経細胞の傷害保護作用を示す。米国・カナダで脳梗塞急性期を対象にフェーズ1。
MP-136	PPAR 作動剤。欧州において脂質異常症でフェーズ1。
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬。欧州において、高血圧でフェーズ1。
MP-157	アンジオテンシン タイプ2受容体作動薬。欧州において、高血圧でフェーズ1。
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト。欧州においてイムセラの後継品として多発性硬化症でフェーズ1。
MT-7716	NOP受容体作動薬。米国においてアルコール使用障害(乱用、中毒)を対象疾患にフェーズ1。

導出品

治験コード/製品名 (一般名)	補足説明
TA-1790 (アバナフィル)	即効性で、副作用の少ない勃起障害治療剤として創製。米国でヴィーヴァスにより2011年6月に申請された。韓国ではJWファーマが2011年8月に承認を取得した。
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2選択的阻害薬。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。ジョンソン・エンド・ジョンソンにより欧州・米国で2型糖尿病を対象にフェーズ 3、肥満を対象にフェーズ 2終了。
T-0047 (フィラテグラスト)	白血球が炎症部位に浸潤する過程を抑える細胞接着阻害剤。T-0047の臨床試験はグラクソ・スミスクラインによって欧州ほかでフェーズ 2。
MKC-242	セロトニン1A受容体の作動薬で、依存性が生じる可能性が低く即効性が期待される不安症やうつ病などの精神疾患治療剤。米国メディシナバで不眠症を対象にフェーズ 2。
MKC-231	神経新生促進剤。米国でブレインセルズによりフェーズ 2。
Y-39983	血管平滑筋を弛緩させるROCK(Rho-キナーゼ)阻害作用をもつ薬剤。国内で千寿製薬によりフェーズ 2。
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤。キレナイック(仏)によりフェーズ 2。
MKC-733	セロトニン3受容体作動作用を持つ消化管運動調節薬で、米国でエドューサが夜間性胃食道逆流症を対象としたフェーズ2を実施中。
sTU-199 (テナトブラゾール)	国内で開発していたTU-199の光学異性体で、ネグマ(仏)へ導出。欧米で実施されたフェーズ1試験のPK/PDにおいて、長い血中濃度半減期より1日1回投与で夜間における優れた胃酸コントロールが確認され、早期の症状改善や治癒が期待されている。子会社のシテムが胃食道逆流症を対象に、欧州でフェーズ 1。
TT-138	3受容体作動作用を持つ頻尿・尿失禁治療剤。米国でメディシナバによりフェーズ1。
TA-7906	PDE4阻害薬。アトピー性皮膚炎を予定適応症に、国内でマルホによりフェーズ1。

7 その他

1. 関係会社

関係会社数

	2011年度 上期末	2010年度末	増減数	特記事項
連結子会社数	28	28	-	
非連結子会社数	3	3	-	
関連会社数	3	3	-	
合計	34	34	-	

連結子会社一覧

(2011年9月30日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	(株)ベネシス	3,000	100.0 ()	3月末	医薬品の製造・販売
2	田辺三菱製薬工場(株)	1,130	100.0 ()	3月末	医薬品の製造・販売
3	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	KRW 2,100,000,000	100.0 ()	12月末	医薬品の製造・販売
4	三菱製薬(広州)有限公司	US\$12,000,000	100.0 ()	12月末	医薬品の製造・販売
5	天津田辺製薬有限公司	US\$12,000,000	66.7 ()	12月末	医薬品の製造・販売
6	吉富薬品(株)	385	100.0 ()	3月末	医薬品の学術情報伝達
7	MPロジスティクス(株)	95	65.0 ()	3月末	物流・倉庫業
8	(株)パイファ	7,500	51.0 ()	3月末	医薬品の製造・販売
9	田辺製薬吉城工場(株)	400	100.0 ()	3月末	医薬品の製造・販売
10	田辺製薬販売(株)	169	92.9 (7.9)	3月末	ジェネリック医薬品等の販売
11	(株)田辺アールアンドディー・サービス	44	100.0 ()	3月末	医薬品の研究開発支援サービス
12	田辺総合サービス(株)	90	100.0 ()	3月末	不動産の管理等
13	MPヘルスケアベンチャー マネジメント	US\$100	65.0 ()	12月末	バイオベンチャーへの投資事業
14	ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカ	US\$166	100.0 ()	12月末	米国グループ会社の経営管理
15	ミツビシ タナベ ファーマ ディベロップメント アメリカ	US\$100	100.0 (100.0)	12月末	医薬品の研究開発
16	タナベ リサーチ ラボラトリーズ U.S.A.	US\$3,000,000	100.0 (100.0)	12月末	医薬品の研究開発
17	タナベ U.S.A.	US\$1,400,000	100.0 (100.0)	12月末	化成品等の販売
18	ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ	US\$100	100.0 (100.0)	12月末	医薬品の販売
19	三菱製薬研発(北京)有限公司	US\$1,000,000	100.0 ()	12月末	医薬品の研究開発
20	広東田辺医薬有限公司	7,000千元	100.0 ()	12月末	医薬品の販売
21	台湾田辺製薬股份有限公司	NT\$90,000,000	65.0 ()	12月末	医薬品の製造・販売
22	台田薬品股份有限公司	NT\$20,000,000	65.0 ()	12月末	医薬品の販売
23	タナベ インドネシア	US\$2,500,000	99.6 ()	12月末	医薬品の製造・販売
24	ミツビシ ファーマ ヨーロッパ	£4,632,000	100.0 ()	12月末	医薬品の研究開発
25	ミツビシ ファーマ ドイツ	EUR 25,000	100.0 (100.0)	12月末	医薬品の販売
26	タナベ ヨーロッパ	EUR 260,330	100.0 ()	12月末	化成品等の販売

(注)上記以外に清算手続中の連結子会社が2社あります。

持分法適用非連結子会社一覧

(2011年9月30日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	長生堂製薬(株)	340	52.5 ()	12月末	医薬品の製造・販売
2	ホシエヌ製薬(株)	75	52.5 (52.5)	3月末	医薬品の製造・販売

持分法適用関連会社一覧

(2011年9月30日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	(株)エービーアイ コーポレーション	4,000	47.7 ()	3月末	医薬品原体等の製造・販売
2	サンテラボ・タナベ シミイ	EUR 1,600,000	50.0 ()	12月末	医薬品の製造・販売

2. 株式の状況

発行済株式数

	2011年9月末	2011年3月末
期末発行済株式総数	561,417,916	561,417,916
期末自己株式数	353,627	353,152
期末発行済株式数	561,064,289	561,064,764
期中平均自己株式数	353,448	307,141
期中平均株式数	561,064,468	561,110,775

大株主の状況

順位	株主名	2011年9月末		2011年3月末		
		持株数 千株	持株比率	順位	持株数 千株	持株比率
1	三菱ケミカルホールディングス	316,320	56.34%	1	316,320	56.34%
2	日本マスタートラスト信託銀行	25,298	4.51%	2	25,490	4.54%
3	日本トラスティ・サービス信託銀行	21,431	3.82%	3	17,169	3.06%
4	日本生命保険	15,082	2.69%	4	15,875	2.83%
5	ニプロ	7,642	1.36%	5	7,642	1.36%
6	三菱東京UFJ銀行	7,254	1.29%	6	7,254	1.29%
7	ジェービー モルガン チェース パンク 385147	7,100	1.26%	8	7,100	1.26%
8	ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラー アカウント	5,625	1.00%	7	7,116	1.27%
9	東京海上日動火災保険	4,958	0.88%	9	5,218	0.93%
10	パーシング ディヴィジョン オブ ナルドソンラフキン アンド ジェンレット エスイーシー コーポレーション	4,735	0.84%	10	4,355	0.78%

所有者別株式数分布状況

	2011年9月末			2011年3月末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比	株主数 名	株式数 千株	構成比
金融機関	61	92,092	16.41%	62	90,522	16.13%
外国法人等	392	98,783	17.60%	391	100,839	17.97%
個人・その他(注)	11,226	25,844	4.60%	11,460	26,104	4.65%
その他の法人	281	342,632	61.04%	284	342,679	61.05%
金融商品取引業者	33	1,943	0.35%	38	1,148	0.20%
合計	11,993	561,296	100.00%	12,235	561,293	100.00%
単元未満株式の状況	-	121	-	-	124	-

* 1単元の株式数は100株

(注) 個人・その他には、自己株式(2011年9月末353千株、2011年3月末353千株)を含んでおります。

配当金 / 株価推移

	2007年度(注1)	2008年度(注2)	2009年度(注2)	2010年度(注2)	2011年度 上期(注2)	2011年度 予想(注2)
1株当たり年間配当金(円)	26	28	28	28	15	30
配当性向(%)	44.0	43.0	39.0	32.9	33.7	35.4
期末株価(円)	1,161	971	1,320	1,350	1,441	-
株式時価総額(億円)	6,518	5,451	7,410	7,579	8,090	-

(注1) 配当金は、田辺製薬の中間配当金(13円)と田辺三菱製薬の期末配当金(13円)を用いております。また、配当性向は田辺三菱製薬の下期の当期純利益からのれん償却額を除いた利益と期末配当金から算出しております。

(注2) 配当性向は、当期純利益からのれん償却額を除いた利益と年間配当金から算出しております。

参考

主要医療用医薬品の解説

レミケード	2002年5月発売	薬効	抗ヒトTNF モノクローナル抗体製剤(関節リウマチ、活動期クローン病、パーचेット病による難治性網膜ぶどう膜炎、乾癬、強直性脊椎炎、中等症から重症の潰瘍性大腸炎の治療剤)
<p>炎症性サイトカインであるTNF をターゲットとした抗TNF 抗体で、早く強力な効果と、1回の投与で8週間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチをはじめ、クローン病、パーचेット病による難治性網膜ぶどう膜炎、乾癬、強直性脊椎炎、潰瘍性大腸炎の効能・効果を有する。2009年7月に関節リウマチにおける投与量の増量が、2011年8月に クローン病における投与量の増量が承認された。</p> <p>オリジン: (米)ヤンセン・バイオテック</p>			
ラジカット	2001年6月発売	薬効	フリーラジカルスカベンジャー(脳保護剤)
<p>我が国で開発された世界初の脳保護剤(フリーラジカルスカベンジャー)であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害(退院時の後遺症の程度)を改善する。脳梗塞の3つの主要病型(ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症)いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。2010年1月には点滴静注バッグが承認され、5月に発売した。</p>			
セレジスト	2000年9月発売	薬効	脊髄小脳変性症治療剤
<p>脊髄小脳変性症による運動失調に対し、甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)が有効であることは既に確認されていたが、これまでは注射剤のみであった。自社技術によりTRHを誘導体化し、経口投与を世界で初めて可能にした。2009年6月に口腔内崩壊錠の剤形追加が承認され、10月に発売した。</p>			
アンプラーグ	1993年10月発売	薬効	5-HT ₂ ブロッカー(抗血小板剤)
<p>閉塞性動脈硬化症(ASO)など慢性動脈閉塞症に対する治療薬(経口抗血小板薬)である。セロトニンにより増強される血小板凝集、血管収縮、血管平滑筋細胞増殖を抑制することにより慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛、冷感等の虚血性諸症状を改善する。特に側副血行路の血流を改善する。2007年8月に高齢者にも服用しやすい小型化錠が承認された。</p>			
タリオン	2000年10月発売	薬効	アレルギー性疾患治療剤
<p>抗ヒスタミンH₁作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒に即効性を発揮する。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年3月に口腔内崩壊錠の剤形追加が承認され、7月に発売した。</p> <p>オリジン: 宇部興産</p>			
ウルソ	1962年7月発売	薬効	肝・胆・消化機能改善剤
<p>本剤の主成分ウルソデオキシコール酸(UDCA)は、古くから消化器症状の改善に用いられてきた熊胆(クマノイ)が薬効の起源であり、ヒト生体内に存在する胆汁酸の一つである。本剤は肝細胞を保護する作用を持ち、慢性肝疾患・C型慢性肝疾患における肝機能の改善、胆石の溶解等の効果を持つ。</p>			
メインテート	1990年11月発売	薬効	選択的 1遮断剤(高血圧症・狭心症・不整脈治療剤)
<p>世界85カ国以上で使用されている代表的な 1遮断剤。極めて高い 1選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともにエビデンスに基づいた心保護効果を有する。</p> <p>オリジン: (独)メルク KGaA</p>			
クレメジン	2011年4月発売	薬効	慢性腎不全用剤
<p>高純度の多孔質炭素からなる球形微粒状の経口吸着薬。慢性腎不全時の尿毒症毒素の除去により疾患の進行抑制や病態の改善を図る。1991年12月に発売後、2011年4月、第一三共からの販売移管により、当社が販売を開始した。</p> <p>オリジン・製造販売元: クレハ</p>			
デパス	1984年3月発売	薬効	精神安定剤
<p>国内で最も汎用される抗不安薬。強力な抗不安作用に筋緊張緩解作用、鎮静・催眠作用を併せ持つため、心身症、神経症だけでなく、腰痛症、頸椎症、筋収縮性頭痛、うつ病ならびに睡眠障害にも効果が認められている。</p>			

ヴェノグロブリンH	1992年1月発売	薬効	血漿分画製剤(液状・静注用免疫グロブリン製剤)
国内の献血血液を原料として製造された人免疫グロブリン製剤。免疫グロブリンの持つ4つの作用(オプソニン作用、毒素やウイルスの中和作用、免疫溶菌作用、抗体依存性細胞傷害)により、抗菌薬と併用することで重症感染症に対する効果を発揮する。2010年10月、「多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善(ステロイド剤が効果不十分な場合に限り)」、2011年9月、「全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド以外の免疫抑制剤が十分に奏功しない場合に限り)」の効能追加に係る承認を取得。全身型重症筋無力症の治療における新たな選択肢として、患者さんのQOL向上に貢献できるものと期待している。			
ヘルベッサー	1974年2月発売	薬効	カルシウム拮抗剤(狭心症・高血圧症治療剤)
世界110か国以上で使用されている代表的なカルシウム拮抗剤。血圧降下作用に加え、心拍数を抑えて心臓の負担を軽減し、冠血管拡張作用により酸素供給を増加させる。狭心症や高血圧症において心臓をやさしく保護する効果がある。			
タナトリル	1993年12月発売	薬効	アンジオテンシン変換選択性阻害剤(高血圧症治療剤)
確実な血圧降下作用および高い臓器保護作用を有しながら、この種の薬剤に一般的な副作用である空咳の発生頻度が少ない。2002年には日本で初めて1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症への効能追加が承認された。			
リブル	1988年11月発売	薬効	プロスタグランジンE1製剤
世界初の静注用プロスタグランジンE1のDDS(ドラッグ・デリバリー・システム)製剤。血管に直接作用し拡張させることにより慢性動脈閉塞症、糖尿病における皮膚潰瘍等の末梢循環障害を改善する。DDS化によりPGE1の治療上の有用性を最大に引き出し、投与時のデメリットを最小化することに成功した。			
サアミオン	1988年6月発売	薬効	脳循環・代謝改善剤
脳循環・代謝改善作用を有する薬剤。脳梗塞後遺症の治療薬として処方されている。1998年に厚生省によって行われた再評価において、有用性が再確認されている。また、「脳卒中治療ガイドライン2009」において、脳梗塞慢性期の治療薬として推奨されている。 オリジン:(米)ファイザー			
ノイアート	1987年6月発売	薬効	血漿分画製剤(血液凝固阻止剤)
国内の献血血液を原料とした人アンチトロンビン製剤。人アンチトロンビンを高純度に含有するDIC治療剤である。トロンビンをはじめ幅広くセリンプロテアーゼ活性を阻害することにより強力な抗凝固作用を発揮する。			
オメプラゾン	1991年4月発売	薬効	プロトンポンプインヒビター(消化性潰瘍、胃食道逆流症治療剤)
胃酸分泌の最終過程であるプロトンポンプの働きを阻害することにより、強力かつ持続的に胃酸分泌を抑制する。世界初のプロトンポンプインヒビターである。消化性潰瘍、十二指腸潰瘍、胃食道逆流症に優れた効果をもつ。さらに、2007年5月に非びらん性胃食道逆流症が、8月にヘリコバクターピロリの二次除菌療法に係る用法・用量追加が承認された。 オリジン:(英)アストラゼネカ			
ミールビック	2005年12月発売	薬効	麻しんおよび風しんの予防
麻しんと風しんの予防接種が同時に行え、接種者の負担が軽減できる乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン。麻しんおよび風しんの予防接種率の向上が期待される。 オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会			
ジェービックV	2009年6月発売	薬効	日本脳炎の予防
製造過程におけるウイルスを増殖させる宿主として、Vero細胞を使用した、乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン。定期接種1期、2期ともに乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンが使用可能になったことから、接種人数の増加が期待される。 オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会			

ニュースリリース

2011年4月以降の主なニュースリリースは、下記の通りです。詳細は、ホームページ(<http://www.mt-pharma.co.jp/release/index.php>)をご覧ください。

発表日	内容
2011年 4月11日	東日本大震災の影響に関するお知らせ(第三報)
4月27日	品質管理問題に係る総括報告書について
4月27日	役員報酬の一部返上に関するお知らせ
5月10日	定款の一部変更に関するお知らせ
5月20日	選択的 1アンタゴニスト「メインテート錠0.625、同2.5、同5」慢性心不全の効能・効果の承認取得並びに「メインテート錠0.625」新発売に関するお知らせ
5月20日	選択的抗トロンピン剤「ノバスタンH注10mg/2mL」の効能・効果追加承認取得について
5月20日	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン「抗D人免疫グロブリン筋注用1000倍「ベネシス」」効能・効果追加承認取得に関するお知らせ
5月27日	アレルギー性疾患治療剤「ヘボタスチンベシル酸塩」の中国およびインドネシアにおける販売開始に関するお知らせ
6月2日	免疫抑制剤「アザニン錠50mg」治療抵抗性のリウマチ性疾患に係る効能・効果の追加承認取得に関するお知らせ
6月17日	日本赤十字社と田辺三菱製薬株式会社の血漿分画事業の統合の検討開始に関する基本合意について
6月24日	ジェネリック医薬品の新発売に関するお知らせ
7月1日	関節リウマチ治療薬「シンボニー皮下注50mgシリンジ(一般名:ゴリムマブ)」製造販売承認取得について
7月19日	田辺三菱製薬工場株式会社 足利工場に対する業務停止及び当社に対する改善命令について
7月21日	抗うつ剤「レキサプロ錠10mg」の薬価基準収載ならびに新発売のお知らせ
8月17日	抗ヒトTNF モノクローナル抗体製剤「レミケード点滴静注用100」クローン病に係わる用法・用量の一部変更の承認取得に関するお知らせ
8月22日	米国におけるアルガトロバン特許侵害訴訟の控訴審勝訴について
9月1日	2型糖尿病治療薬「MP-513」の国内での製造販売承認申請について
9月15日	関節リウマチ治療薬「シンボニー皮下注50mgシリンジ(一般名:ゴリムマブ)」4週間に1回の皮下注製剤 新発売のお知らせ
9月26日	日本初、経口の多発性硬化症治療剤「イムセラカプセル0.5mg」製造販売承認取得のお知らせ
9月26日	新しい作用機序を有するC型慢性肝炎治療薬 抗ウイルス剤「テラピック錠250mg」の国内における製造販売承認取得について
9月26日	液状・静注用免疫グロブリン製剤「献血ヴェノグロブリンH5%静注」全身型重症筋無力症の効能・効果追加承認の取得に関するお知らせ
10月14日	そう痒症改善剤「TRK-820」の北米におけるライセンス契約締結について
10月17日	「中期経営計画11-15 ~ New Value Creation」の策定について

